

TUSルーブリック（薬学部薬学科：2021年度新入生）

| 評価項目No | 評価項目の名称 | 評価項目内容 | ルーブリックによる達成レベル評価 | |
|--------|------------------------------|---|------------------|---|
| 1 | 幅広い教養と広い視野 | 自然科学、人文科学、社会科学に係る幅広い教養を修得し、専門分野にとらわれずに横断的なものごとを俯瞰できる。 | 0 | 自然科学、人文科学、社会科学に係る幅広い教養を身に付けている。 |
| | | | 1 | 自然科学、人文科学、社会科学に係る幅広い教養に基づいた視野から専門分野における課題を理解し、説明することができる。 |
| | | | 2 | 幅広い教養と俯瞰的視野に基づいて、専門分野における課題に対する解決方策の立案ができる。 |
| | | | 3 | 幅広い教養と俯瞰的視野に基づいて課題解決を行い、結果の検証、評価、改善を行うことができる。 |
| 2 | 医療に携わる者としての高い倫理観と使命感、ふさわしい態度 | 医療に携わる者としての高い倫理観と使命感に基づいて行動し、社会的使命を果たす姿勢を示すことができる。 | 0 | 医療に携わる者としての高い倫理観と使命感を身に付けている。 |
| | | | 1 | 医療に携わる者としての高い倫理観と使命感をもとに行動できる。 |
| | | | 2 | 医療に携わる者としての社会的使命を果たす姿勢を周囲に提示することができる。 |
| | | | 3 | 医療に携わる者としての高い倫理観と使命感をもとに行動し、医療関係者として社会的使命を果たす姿勢を示すことができる。 |
| 3 | 薬剤師の職能の基盤となる専門的な知識と技能 | 薬学教育コアカリキュラムに定義される知識・技能・態度を修得するとともに応用できる。 | 0 | 薬学教育コアカリキュラムに定義される知識・技能・態度を身に付けている。 |
| | | | 1 | 薬学教育コアカリキュラムに定義される知識・技能・態度について理解し、説明することができる。 |
| | | | 2 | 薬学教育コアカリキュラムに定義される知識・技能・態度に基づいた行動をとり、周囲にその模範を示すことができる。 |
| | | | 3 | 医療現場において、薬学教育コアカリキュラムに定義される知識・技能・態度をもとに応用的な行動をとることができる。 |
| 4 | コミュニケーション能力と国際性 | 医療に携わる者として修得した専門知識や教養をもとに他者とコミュニケーションを取り、国際的な視野をもって活躍できる。 | 0 | 医療に携わる者としての専門知識や教養を身に付けている。 |
| | | | 1 | 専門知識や教養に関する国際的な視野を養うことができている。 |
| | | | 2 | 専門知識や教養をもとに他者と円滑なコミュニケーションをとることができる。 |
| | | | 3 | 専門知識や教養をもとに様々な背景を持つ他者と円滑なコミュニケーションをとることができる。 |
| 5 | 問題発見、解決能力、最先端の医療や科学に関する知識 | 最先端の医療や科学に関する知識を積極的に取り入れ、問題解決に向けて適切な方法を立案し、実践できる。 | 0 | 最先端の医療や科学に関する知識を積極的に取り入れる姿勢ができています。 |
| | | | 1 | 最先端の医療や科学に関する知識について説明することができる。 |
| | | | 2 | 最先端の医療や科学に関する知識に基づいて課題解決に向けた方策の立案ができる。 |
| | | | 3 | 最先端の医療や科学に関する知識に基づいた課題解決を行い、検証、評価、改善を行うことができる。 |

TUSルーブリック（薬学部生命創薬科学科：2021年度新入生）

| 評価項目No | 評価項目の名称 | 評価項目内容 | ルーブリックによる達成レベル評価 | |
|--------|---|--|------------------|--|
| 1 | 幅広い教養と広い視野 | 自然科学、人文科学、社会科学に係る幅広い教養を修得し、専門分野にとらわれずに横断的なものを俯瞰できる。 | 0 | 自然科学、人文科学、社会科学に係る幅広い教養を身に付けている。 |
| | | | 1 | 自然科学、人文科学、社会科学に係る幅広い教養に基づいた視野から専門分野における課題を理解し、説明することができる。 |
| | | | 2 | 幅広い教養と俯瞰的視野に基づいて、専門分野における課題に対する解決方策の立案ができる。 |
| | | | 3 | 幅広い教養と俯瞰的視野に基づいて課題解決を行い、結果の検証、評価、改善を行うことができる。 |
| 2 | 医薬品の創製に携わる者としての高い倫理観と使命感 | 医薬品の創製に携わる者としての高い倫理観と使命感に基づいて行動し、その社会的使命を果たす姿勢を示すことができる。 | 0 | 医薬品の創製に携わる者としての高い倫理観と使命感を身に付けている。 |
| | | | 1 | 医薬品の創製に携わる者としての高い倫理観と使命感をもとに行動できる。 |
| | | | 2 | 医薬品の創製に携わる者としての社会的使命を果たす姿勢を周囲に提示することができる。 |
| | | | 3 | 医薬品の創製に携わる者としての高い倫理観と使命感を基に行動し、医療関係者として社会的使命を果たす姿勢を示すことができる。 |
| 3 | 医薬品の創製に関する研究を遂行するために必要となる基礎学力、技術及び創薬科学、生命薬学に関する専門知識 | 基礎学力、技術、専門知識を修得し、研究に応用することができる。 | 0 | 医薬品の創製に関する研究を遂行するために必要となる基礎学力、技術及び創薬科学、生命薬学に関する専門知識を身に付けている。 |
| | | | 1 | 医薬品の創製に関する研究を遂行するために必要となる基礎学力、技術及び創薬科学、生命薬学に関する専門知識に基づいて、専門分野における課題を理解し、説明することができる。 |
| | | | 2 | 医薬品の創製に関する研究を遂行するために必要となる基礎学力、技術及び創薬科学、生命薬学に関する専門知識に基づいて、専門分野における課題に対する解決方策の立案ができる。 |
| | | | 3 | 医薬品の創製に関する研究を遂行するために必要となる基礎学力、技術及び創薬科学、生命薬学に関する専門知識に基づいて課題解決を行い、その検証、評価、改善を行うことができる。 |
| 4 | コミュニケーション能力と国際性 | 研究者として必要となるコミュニケーション能力ならびにプレゼンテーション能力に加えて、国際的な視野をもって医薬品の創製や人類の健康維持に携わる研究者・技術者として、広く社会に貢献できる。 | 0 | 研究に携わる者としての専門知識や教養を身に付けている。 |
| | | | 1 | 専門知識や教養に関する国際的な視野を養うことができている。 |
| | | | 2 | 専門知識や教養をもとに他者と円滑なコミュニケーションをとることができる。 |
| | | | 3 | 専門知識や教養をもとに様々な背景を持つ他者と円滑なコミュニケーションをとり、社会に貢献することができる。 |
| 5 | 問題発見、解決能力、最先端の医療や科学に関する知識 | 最先端の医療や科学に関する知識を積極的に取り入れ、問題解決に向けて適切な方法を立案し、実践できる。 | 0 | 最先端の医療や科学に関する知識を積極的に取り入れる姿勢ができている。 |
| | | | 1 | 最先端の医療や科学に関する知識をもとに課題を発見し、問題点について説明することができる。 |
| | | | 2 | 最先端の医療や科学に関する知識に基づいて課題解決に向けた方策の立案ができる。 |
| | | | 3 | 最先端の医療や科学に関する知識に基づいた課題解決を行い、検証、評価、改善を行うことができる。 |